

## 2023 年度 生活応援基金による「こども食堂」支援のご報告

1. 11月21日、「一般社団法人岡山こども食堂支援センター」に20万円を寄贈。

「一般社団法人岡山こども食堂支援センター」について

子ども食堂等のこどもの居場所の運営者や弁護士、司法書士や社会福祉士など、子育て世帯の支援に携わる団体や専門家の支援者によるネットワークです。

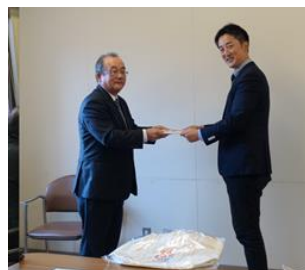
子どもの居場所づくりに必要な情報を提供するセミナーの開催、子ども食堂の運営をサポートする中間支援（運営者同士の交流、寄付や寄贈の分配・情報提供）、啓発活動（県内こどもの居場所マップづくり等）を行っておられます。

交流会やフードドライブ活動等では、中心的に活動されている団体が核となり、県東部、県西部、県北部の3圏域で地域内のニーズに合わせて行われています。

労福協としては、県下全域に亘って活動していることから支援先にふさわしいと判断しました。資金使途については、当団体が子ども食堂から物資の希望を募り購入後に分配します。



直島克樹氏（中央）川崎医療福祉大学にて



贈呈式 森信之会長 直島克樹代表

2. 11月29日、「特定非営利活動法人AMDA」を通じて食料品10万円相当を寄贈。

「特定非営利活動法人AMDA」について

大規模災害や紛争など国内外を問わず、医療支援活動をはじめとする様々な人道支援活動を行っています。そのひとつとして「AMDAこども食堂支援プラットフォーム」を設立し、貧困や複雑な事情を抱える子供たちの居場所づくりとして子ども食堂支援に取り組んでいます。

連合岡山では、組合活動の根幹である「支えあい・助け合い」の一環として「AMDAこども食堂支援プラットフォーム」に対する支援に取り組むこととしており、県労福協へも支援物資の持ち込み要請を受けました。支援物資は、連合岡山を通じて希望を確認し次の物資をおかやまコープより購入しました。

| 購入物資  | 購入個数  | 単価（通常単価）      | 購入価格（消費税込み） |
|-------|-------|---------------|-------------|
| さばの缶詰 | 432 缶 | 230 円 (258 円) | 107,308 円   |



岡山県労福協 森会長 挨拶



こども食堂・連合岡山と共に